

(様式1)

令和2年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 4	提案機関名 農業技術センター普及指導部
要望問題名 水稲被覆肥料殻の水田土壌中における崩壊過程の解明	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 昨年度、環境科学センターが相模川沿岸に漂着するマイクロプラスチックのうち、水稲栽培で使用している被覆肥料殻が含まれていることを発表した。 今年度の調査では、代かき時に田面に殻が浮遊し排水路へ流出していることを確認できたが、代かき後浮遊する殻の崩壊期間、崩壊程度、浮遊割合等がわかっていないため、具体的な対策がたてられない。 そこで、水田散布後の肥料殻崩壊の過程を解明していただきたい。 神奈川県水稲栽培面積 3,080ha	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産環境部 土壌環境研究課
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) X-2 (1) 適正施肥のための土壌環境モニタリング エ 地力保全対策診断調査		
対応の内容等	肥料メーカーからは、新たに崩壊性の高い素材を利用した製品が開発されており、普及指導部では、この製品を活用した配合肥料の肥効展示圃を実施しています。これらの取り組みと連携して既存の被覆肥料と被覆肥料殻の崩壊性の違いや水田中での動態について検討を行います。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			